

学校教育目標	○ 心つながり 笑顔ひろがり 世界へはばたく (知) ねばり強く取り組み、自ら学び続けようとする子どもを育てます。 (徳) 互いの違いを認め合い、共に高め合って生きていこうとする子どもを育てます。 (体) 心と体を鍛え、自分や周りの人の命や心、体を大切にすることを育てます。 (公) わがまちのよさに気付き、地域と進んで関わろうとする子どもを育てます。 (開) 多様な見方、考え方を知り、国際社会に貢献しようとする子どもを育てます。					
	学校概要	創立 6 周年	学校長 宮澤 千澄	副校長 二ノ宮 淳子	2 学期制	一般学級: 7 個別支援学級: 2
児童生徒数: 209 人		主な関係校: 上飯田中学校・上飯田小学校				

教育課程全体で育成を目指す資質・能力	中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
①コミュニケーション能力の育成 言語活動の充実(話す力・聞く力) ②認めあう力(自分・友達・地域の良さ) ③つながる力(友達・地域・社会)	上飯田中学校 上飯田小学校 飯田北いちよう小学校	基礎・基本を大切に、地域とともに多様性を認める子ども ・ブロック内授業交流会開催(年2回の授業交流会・教育課程編成) ・人権教育推進地域校としての取組(講演会・高校見学) ・児童生徒交流会の実施(年4回)

中期取組目標	<ul style="list-style-type: none"> ・個に応じた指導に力を入れ、学力の向上が図られ、さらに思いや考えを伝え認め合う力を全教育活動を通じて育みます。 ・多文化共生の学校づくりを地域・保護者と共に推進します。一人ひとりの違いを認め大切にします。 ・基本的な生活習慣の定着に全校で取り組みます。(あいさつ・返事・復習・MIM) ・地域行事に積極的に参加したり、地域の方から学んだりすることを大切にします。 ・命や心身を守るための指導や防犯対策を積極的に推進します。 ・教職員が互いに切磋琢磨し、チーム飯田北いちようとして一丸となって取り組む職場にします。
--------	---

重点取組分野	具体的取組
確かな学力	①週2回、朝の学習、週1回の読書活動の時間の確保。宿題の徹底。きめ細かな少人数指導の工夫を通して、確実な基礎学力の定着に努める。②MIMを導入し、日本語の定着・基礎学力の定着の一助とする。また、児童の日本語理解のアセスメントに努める。
担当 研究部	
豊かな心	①年間を通して行事や集会活動等で、異年齢集団活動を計画的に行うことで、児童一人ひとりが自分らしさを発揮し、自己肯定感を高められるようにする。②道徳教育の年間計画に沿って実践を行い、指導方法や題材・資料等検証し改善をしていくとともに児童の日常体験を生かした指導を行う。
担当 研究部	
健やかな体	①元気っ子会議では引き続き基本的生活習慣をテーマに【朝ごはん、朝うんち、遊び】+歯みがきについて取り組む。外遊び・運動にスポットを当てて活動し、健康的な生活を目指す。②「体力アップ大作戦」では、年間を通してたてわり班で、長縄に取り組む。
担当 指導部	
特別支援教育	①授業や学校生活においてユニバーサルデザインについて共通項目を確認し、誰にも分かりやすく、安心して学べる教育環境をつくる。②個別の教育支援計画や個別の指導計画の作成と活用により、児童一人ひとりにきめ細かな指導・支援を行えるように年間を通して連絡・相談等密に行う。
担当 指導部	
児童生徒理解	①スクールスタンダードについて、全職員で共通理解を図ったうえで活用し、小さなことを見逃さない日々の児童指導の推進を図る。②学年やブロック研を活用し情報共有をきめ細かく確実にを行い、共通理解したうえで同じ指導・支援を全職員で行い、職員一人ひとりが学校全体(の子ども)を丁寧に見ていく。
担当 指導部	
保護者・地域連携	①防災訓練・地域清掃・防犯パトロール・祭り等、各自治会主催の活動へ職員が計画的かつ積極的に参加すると共に子どもの参加も促していく。②中学校ブロックで学校運営協議会の設立をする。地域・保護者からの意見を聞く機会を設定する。③PTA組織に変わる教育活動ボランティア組織の立ち上げと活用に努める。
担当 指導部	
多文化共生	①多文化共生を普段の学習において進めたり、学校行事に多文化共生を盛り込んで、外国につながる保護者を意識した取組を全体に展開したりする。②外国語補助指導員や母語支援者等の活用(学習通訳、電話相談、通訳・翻訳、母語保持教室の実施)に努める。
担当 研究部	
いじめへの対応	①「子どもの社会的スキルプログラム」を活用し、授業や行事等の指導に活かしていく。②ブロック研を大切に、子どもたちを複数の目でよく見て、情報をきめ細かく確実に共有する。子どもの小さな変化を見逃さないことをチームで行うと共に、職員の感性を磨くべく研修を充実させる。
担当 指導部	
人材育成・組織運営(働き方改革)	①2ブロック制を活かし、授業力・指導力向上を図り、さらに相談できる環境作りに努める。②メンター研修をはじめ、人材育成等も含めた校内研修(時には外部人材も活用)の計画的な実施により、教師力を高めていく。③会議を精選し、教材研究や事務処理の時間の確保をさらに推進し、職員が自分でタイムマネジメントができる働き易い職場作りに努める。
担当 教務会	